

いわて生衛だより

編集・発行
 (公財)岩手県生活衛生
 営業指導センター
 電話 019(624)6642
 FAX 019(654)2741

岩手県生活衛生営業指導
 センターホームページ



第35回 岩手県生活衛生大会を開催



11月13日、盛岡市内にて、県や盛岡市、関係機関・団体等のご来賓並びに各生活衛生同業組合の皆様方、約160名の出席をいただき、第35回岩手県生活衛生大会を開催しました。

第1部基調講演では、アメリカ・ネバダ州の国際ホテルのウェイトレス経験を持つ、内木美樹氏を講師にお招きし、「インバウンド接客～英語が話せなくても海外のお客様に接客する方法」と題して、ご講演いただきました。内木講師は組合員の席を次々と回って質問されましたが、皆さん窮することなく答えていました。

インバウンド接客の心得として、『無理して英語を使う必要はない。笑顔で日本語を話せばよい。』とのお話に、安心し勇気づけられた講演でした。

第2部表彰式では、今年度の岩手県知事表彰8名、並びに岩手県生活衛生同業組合中央会会長表彰8名の皆様に表彰状が授与されました。また、表彰者代表謝辞を 中華料理組合 東山武志氏が述べ、大会宣言を 理容組合 瀬川香織氏が朗読しました。

主な内容

第35回岩手県生活衛生大会を開催 …… 1	岩手セイエイ百貨店「デモンストレーション事業」を開催… 8
年頭のごあいさつ …… 2	『衛生管理セミナー』を開催 …… 8
各種表彰受賞者 …… 3	『地域デジタル相談員候補生』スキルアップ研修会を開催… 9
時の話題 …… 4	『経営特別相談員研修会』を開催…10
組合だより …… 4～6	『秋田県・岩手県合同開催 生衛組合活性化塾2023in横手』を開催…11
すし業、中華料理、社交飲食業、食肉、理容、美容業	指導センターの応援団…11
生衛業の事業承継を支援するための覚書を締結… 6	指導センターの主な事業(令和5年度)…12
『生衛業デジタル化講習会2023in盛岡』を開催… 7	後継者育成支援事業「調理体験学習」…12
地域活性化連携事業『モデル事業』を開催… 7	



年頭のごあいさつ

(公財)岩手県生活衛生営業指導センター

理事長 湊 正 美

明けましておめでとうございます。

生活衛生同業組合の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます

また、日頃より岩手県生活衛生営業指導センターの取組みにつきまして、ご理解とご協力をいただいておりますことに、心より感謝申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスの感染症区分移行に伴う行動制限の緩和により、外国人を含む来県者が増えるなど、価格高騰に歯止めが掛からない中での、業績回復に向けて進み出した1年でした。

さて、今年の干支「甲辰(きのえたつ)」には、『上昇し勢いを増しながら、ぐんぐん成長していく』意味が込められているそうです。

すし業組合では10月に全国大会を盛岡市内で予定しており、また、飲食業組合も令和8年に全国大会を招致する計画であり、他にもコロナで中断したイベント等の復活の動きもあります。

こうした活動を通じて、組合組織の更なる充実・活性化が図られていき、併せて、組合員の皆様もコロナ禍の前以上に業績が好転していくことを期待いたします。

一方で、事業者の高齢化や従業員不足、事業承継等、生衛業を取り巻く経営課題が山積しています。

当指導センターでは、昨年7月に課題の一つである事業承継を支援するため、組合中央会、事業承継引継ぎ支援センター及び日本政策金融公庫との4団体による業務連携覚書を締結しました。

今後も諸課題の解消とともに衛生水準の確保・向上に向けて、各組合並びに県・市町村及び関係機関・団体等と連携を図りながら、鋭意取組んでいく所存です。

皆様におかれましても、引続き、新型コロナウイルスその他の感染症の予防対策とともに、利用者・消費者である地域住民に対する、なお一層の安全で安心できる生活衛生サービス提供に、努められますようお願いいたします。

結びに、生活衛生同業組合並びに組合員の皆様にとりまして、今年一年がより佳き年になりますことを祈念申し上げ、新年の挨拶とします。

あけましておめでとうございます



年頭のごあいさつ

岩手県環境生活部長

福 田 直

令和6年の年頭にあたり、謹んで御挨拶申し上げます。

生活衛生関係事業者の皆様におかれては、日頃から本県の生活衛生行政に多大な御理解と御協力をいただき、深く感謝申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染症は一区切りとなりましたが、物価高騰や人手不足などにより、引き続き厳しい経営環境が続く中、皆様には安全・安心で質の高いサービスを提供いただいていることに、心より敬意を表するものです。

さて、11月開催の「いわてネクストジェネレーションフォーラム」では、県内の若者による提言として、「誰もが働きやすい岩手県」、「違いを歓迎できる岩手県」、「チャンスをつかえる岩手県」の3項目が採択されました。これらは、「ダイバーシティ」、「インクルーシブ」、「DX・GX」にそれぞれ対応するもので、いずれも今後の事業経営にとって標準装備と

なるべき項目です。

もっとも、県民生活に密接したサービスを提供する生活衛生関係営業において、多様性や包摂性は以前から重視されてきたものであり、また、デジタルや脱炭素の面でも、皆様には他の業種に率先した取組を進めていただいております、そのことに重ねて感謝申し上げます。

また、今般の政府による総合経済対策としては、物価高騰や賃上げ等に対応するための価格転嫁への理解促進、デジタル化や省エネ化のための相談支援、新型コロナ特別貸付等の返済が始まる中での資金繰り支援などが講じられる中、県としても重点支援地方交付金を活用した事業者支援を講じるなどしております。

皆様におかれては、このような各般の情勢に御留意いただきつつ、これまでも増して県民が安心して生活できる環境の構築に御協力くださるようお願い申し上げます。

結びに、豊かな県民生活に不可欠な生活衛生関係営業の今後益々の御発展を心から祈念申し上げ、年頭の御挨拶とさせていただきます。

令和5年度各表彰受賞者の皆様
栄えある受賞おめでとうございます

令和5年度生活衛生事業功労者に対する厚生労働大臣表彰と全国生活衛生同業組合中央会理事長表彰において、次の皆様が受賞されました。

◎厚生労働大臣表彰受賞者



料理業
理事
盛田 彰氏
(盛岡市)



飲食業
理事長
横田 博安氏
(山田町)



理容
理事
坂井 孝夫氏
(雫石町)



クリーニング
元理事
千葉 健三氏
(釜石市)

◎全国生活衛生同業組合中央会理事長表彰受賞者



中華料理
理事
小澤 良幸氏
(花巻市)



社交飲食業
理事
下堀 正人氏
(二戸市)



理容
監事
向井 雄一氏
(二戸市)



クリーニング
副理事長
平野 雅彦氏
(花巻市)

◎岩手県知事表彰（生活衛生功労者並びに生活衛生優良施設）受賞者

（生活衛生功労者(団体役員)）

- ①中華料理 東山 武志 (盛岡市)
- ②理容 大坂 司 (陸前高田市)
- ③理容 佐々木 俊夫 (大船渡市)
- ④美容業 菊谷 和子 (奥州市)
- ⑤美容業 小原 久美子 (北上市)
- ⑥クリーニング 高橋 一弘 (紫波町)

（生活衛生優良施設）

- ①理容サマサ 佐々木 政吉 (釜石市)
- ②Barber YAMADA 山田 健一 (久慈市)

◎岩手県生活衛生同業組合中央会長表彰受賞者

- ①中華料理 赤間 琴 (一関市)
- ②中華料理 大杉 佳久 (山田町)
- ③料理業 小松平 信久 (花巻市)
- ④飲食業 千葉 武継 (大船渡市)
- ⑤理容 遠藤 薫 (花巻市)
- ⑥理容 多田 美由紀 (釜石市)
- ⑦美容業 永田 日刀美 (遠野市)
- ⑧クリーニング 藤原 順一 (盛岡市)





時の話題

お客様は平等に

中小企業診断士 宮 健

1. 理容店のお世話に

いつもお世話になっている理容店で散髪してもらうのは、ほぼ1か月半おきです。若い頃は、毎月1回のペースだったと思いますが、加齢とともに間隔が伸びてきました。頭髮もすっかり薄くなりました。

それでも、やっぱり欠かせないのが散髪ですから、まさに「生活衛生」そのものを委ねているような気がしています。

どこのお店でも同じことだと思いますが、店長も店員もとてもお客様を大事にしてくださいます。特に感心するのは、お客様への丁寧な「言葉づかい」です。椅子に案内される時は、「どうぞこちらにおかけください」「椅子を回します」に始まって、「首が苦しくありませんか」「お湯加減はいかがでしょう」「痒いところはありませんか」と、まさに痒いところに手が届くような「決まり文言」が担当者の口から飛び出てきます。もちろん、お客である私は、その都度「はい、ちょうどいいです」

などと応じます。

これは、お店独特と言うよりも、「業界用語」と言うべきものかも知れません。理美容学校在学中に教わり、就職先のお店（会社）でも店長や先輩などから、順送りに伝わっていくものかなと、微笑ましくなります。

2. 他のお客様への気遣い

お世話になっている間は、店員とお客との「一対一」のやり取りですから、その場の雰囲気、会話がはずんだりする場合があります。椅子がいくつか並んでいると、ついお隣り（またはさらにそのお隣り）の席のことも気になります。お客様の中には、あたりもはばからずに、大きな声で話をしている方もおられます。

だいぶ昔の話ですが、「一杯気分」で、あるすし店に一人で入ったことがあります。夜間の「書き入れ時」で、店内はだいぶ混んでいましたが、たまたまカウンター席がひとつ空いていたので腰を下ろして、「さて、何から注文しようかな」と思っていました。しかし、カウンターの向こうの職人さんが、別のお客様との会話に夢中になっており、なかなか私の方に目を向けてくれませんでした。

混雑している時間帯には、「一人客は敬遠されるのかな」と思いながら「待つことしばし」という感じで、嫌な思いをしました。

お客様を平等に扱うことが「商売のいろは」です。肝に銘じていただきたいものです。

組合だより



全国すし連 大分大会にて

10月17日(火)大分市のJ:COMホルトホール大分において「第66回全国すし連大分大会」が開催されました。岩手県からは18名が参加し大分県の魅力を堪能してまいりました。

また、次年度開催地「岩手県」との発表がなされ、大会旗伝達後は吉津理事長の受諾挨拶、続いて岩手県からの参加者と東北ブロックの参加者の応援を得て壇上にてPRをしてまいりました。

本来であれば、東日本大震災から10年の節目に開催予定の岩手大会でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大のため延期となり、本年10月の開催となりますが、岩手の豊富な食材と美しい自然を

大いに全国の方に楽しんでいただけるよう準備していきたいと決意を新たにいたしました。



東部地区役員研修会

毎年、持ち回りで開催しております全中連主催

の東部地区役員研修会を、9月4日(月)アートホテル盛岡を会場に開催いたしました。

今回は組合加入のメリットを感じてもらうため未加入店にも声かけをして一緒に受講いただきました。

第1部の経営講習会では、中小企業診断士の工藤健人氏をお迎えして『生衛業におけるデジタル化講習会』をテーマに講演していただきました。

第2部の料理講習会では、中華料理組合組合員でもある、JSA公認ソムリエ 松田宰氏、遊食屋FUJI Next 藤原和広氏の『ワインと中華料理のペアリング講習会』をテーマにワインの基礎知識から始まり、お店で出している中華料理にひと手間かけてワインに合う料理の実演講習を行いました。参加者は5種類のワインとそのワインに合う料理を試食しました。

今までの研修会とは、違い今回のようにワインとのペアリング講習は新しい試みだったことから、他県からの参加者も大いに喜んでいました。



外飲みの楽しさを伝えていくこと

社交飲食の業界を苦しめた新型コロナウイルスがようやく明け、盛岡でいえば、飲み会も徐々に見受けられ、3年ぶりの常連さんが来店し、コロナ前の様相が夜の街にも戻って……そういう期待もあったけれど、あまり戻って来なかった。

実感としては、コロナ前が100として、コロナの3年が10だとするならば、今は50くらい。それだけ夜の街に人が出ていない。物価高、家飲み慣れ、Waltなどの宅配の浸透、よく言われる1番の理由は、そもそもあまりお酒を飲まなくなった。等々、どれもそうであろう。

そういう世情の中で、この業界を盛り上げてい

くには、外飲みの楽しさを伝えていく他にないと思う。このお店でしか味わえない「美味しい料理とお酒」。そして、美味しく飲みながらの「おしゃべり」。節度ある共感を大切に、お互いの時間を楽しめたい。

コロナを乗り越えたお店が岩手にはたくさんある。今夜も明かりを灯し、花を挿し替え、笑顔で開店する。「好きそうなお店があるのだけど、行かない?」と、いつまでも誰かを連れて行きたくなるお店でいてほしい。



食肉惣菜創作発表会開催

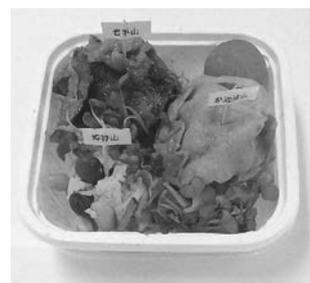
11月1日盛岡市上田公民館で「食肉惣菜創作発表会」を開催いたしました。1月に開かれる全国大会の予選として開かれ、県内7名の出場者が日頃の腕を振るいました。その結果、最優秀賞に高橋ノリ子さんの「岩手の肉～山々(岩手山・早池峰山・姫神山)」優秀賞に高橋美沙妃さん(紫波総合高校3年生)の「鶏ささみでボリュームイタリアンフライ!!」が選ばれました。

この大会は国産食肉を使用した惣菜メニューを開発し、食肉小売店での国産食肉の利用技術の向上と普及を図るために毎年開催。今年は4年ぶりに実技審査を実施いたしました。

他の作品も地元の食材を活かし工夫を凝らした作品が多く、南部せんべいを使ったキッシュ、揚げかまやきのピロシキ風、くるみを使用したホワイトソース等、審査員も賞を決定するのに苦慮されていました。

最優秀賞を受賞した高橋さんの作品は、「岩手をイメージし、牛肉は岩手山、豚肉は早池峰山、鶏肉は姫神山と岩手をアピール」

東京で行われる全国大会に県代表として出場されます。



No.2 岩手の肉～山々
(岩手山・早池峰山・姫神山)





第49回東北理容競技大会・理容2023メッセージ東北大会開催！！

東北6県の選手が一同に集まり、6月19日(月)盛岡市いわて県民情報交流センターアイーナ7階の小田島組☆ほ〜るにおいて、第49回東北理容競技大会・理容2023メッセージ東北大会が開催となり、北海道札幌全国大会での上位入賞を目指し東北選手が奮闘!!

本県選手は、第1部門ジャパンカップオープン・メンズ(フリースタイル):千葉大亮選手、第2部門ジャパンカップオープン・レディース(クリエイティブスタイル):佐々木太一選手、第3部門ラ・セゾン2023「Square」:小田綾乃選手、田中秀実選手、マスタースタイリスト部門:菊地幸夫選手、理容2023メッセージ東北大会:西村和代選手の6選手が出場。

東北青年部女性部は、昨年から引き続き使用済みカラーチューブを回収、阿部基青年部長、と青柳香織女性部長が参加。

結果は、第1部門が敢闘賞の第4位に、第2部門が優勝、第3部門が準優勝と第3位に、マスタースタイリスト部門が準優勝、理容メッセージが準優勝。出場選手全員入賞と輝かし成績を収めた。



行動制限がなくなった上半期

平素より組合へのご協力とご理解を賜りありがとうございます。

近頃の業界は、コロナ禍と物価高で蓄積するダメージを解消できずにいる現状です。

その上、失業率はこれより低くはないと言う2.5%、サービス業の有効求人倍率は2.97倍(平均1.3倍)となり人手不足解決の糸口はあいかかわらず見えてきません。

輸出中心の大手企業が過去最高収益を更新する景況とは真逆です。

これまでも政府には支援策を要望してきたところですが、今後も内需系の業種と連携して景気対策の要望をして行くことになるだろう、と感じています。

一方で、自助努力による営業の立て直しや推進のサポートも重要な課題です。

ヒントはデジタル化と言う事になるのですが、そこにはビジュアル化と言う要素も含まれると思います。

それを踏まえて、当組合では、セミナーは勿論の事、配信や映像制作を睨んだ機器を導入しました。

組合員の営業と業界のデジタル化推進の環境づくりとして取り組んだものです。

ただ美容業界にはこの手の人材が慢性的に不足しており、運用できる人材を育てるという新たな課題が生まれてしまいました。

前途多難ですが、コロナ禍発生の時に比べると未来を感じる、そんな上半期でした。

事業承継を支援します～「生活衛生事業者に係る事業承継支援」業務連携覚書を締結

7月13日、生活衛生関係営業の喫緊の課題の一つである「事業承継」を支援のため、『岩手県生活衛生同業組合中央会、岩手県生活衛生営業指導センター、岩手県事業承継・引継ぎ支援センター、日本政策金融公庫』の4団体が、業務連携の覚書を締結しました。

事業承継については、既に後継者がいて事業承継の検討を始めようとする組合員、事業を譲り受けた事業者を求めている組合員、後継者がいないため廃業を考えている組合員など、組合員それぞれの事情が異なるの

で、些細な相談でも構いません、相談窓口である指導センター(019-624-6642)にお問い合わせください。

なお、今回締結しました指導センターと組合中央会の2団体が加わる事業承継支援に覚書は、全国初めての事例でした。



『生衛業デジタル化講習会2023in盛岡』を開催

10月2日(月)、ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイングにおいて、デジタルビジネスを取り入れようとして講習会を開催、72名が受講。

参加者アンケートでは、**88%の方から「わかりやすかった」との評価**をいただきました。

内容	時間(分)	講師氏名	講師所属、職名等
講演会 「生衛業におけるデジタル化導入事例の紹介とIT導入補助金」	55	工藤 健人	中小企業診断士、事務所代表
出展企業によるプレゼンテーション	70	(株)Donuts、(株)NTTドコモ、(株)ドコモビジネスソリューションズ、paypay(株)、ポスタス(株)、(株)リクルート	
専門家による無料個別相談会		(有)ライフアシスタンスカンパニー、(有)アイエスサプライ	(株)サステナ、工藤健人中小企業診断士事務所
相談展示ブース開放	14:30~ 16:30		



地域活性化連携事業『モデル事業』を開催

10月16日(月)、大船渡市総合福祉センター。地域の高齢者18名参加(大船渡市社会福祉協議会協力)

講義内容	時間(分)	講師氏名	講師所属、職名等
ハンドマッサージの仕方講座	30	柳本 敦子	岩手県美容業生活衛生同業組合大船渡支部長他
アイスパ・耳マッサージ講座	30	佐々木俊夫	岩手県理容生活衛生同業組合気仙支部長他
美味しい「料理の作り方」講座	30	千葉 武継	岩手県飲食業生活衛生同業組合大船渡支部長他



岩手セイエイ百貨店『デモンストレーション事業』を開催

10月23日(月)、千厩農村環境改善センター。地域の高齢者15名参加 (一関市社会福祉協議会協力)



11月6日(月)、久慈市総合福祉センター。地域の高齢者23名参加 (久慈市社会福祉協議会協力)



『衛生管理セミナー』を開催

9月25日(月)、シーパル大船渡。生衛事業者45名 (うち一般14名)

講義科目	時間(分)	講師氏名	講師所属、職名等
生活衛生営業に関する衛生管理	40	猿川 賢	岩手県大船渡保健所環境衛生課技師
食品営業について	25	遠藤 佑太	岩手県大船渡保健所環境衛生課技師
生活衛生融資等について	15	飯島 俊介	日本政策金融公庫一関支店 融資課長



猿川技師



遠藤技師



飯島課長



受講者の皆さん

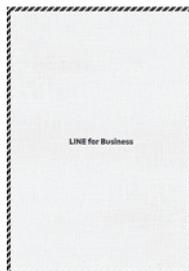
『地域デジタル相談員候補生』スキルアップ研修会を開催

岩手県生活衛生営業指導センターでは、地域デジタル相談員候補生を対象にスキルアップ研修会を開催しました。

概要は次のとおりです。

第一回スキルアップ研修会 12月19日(火)、於：岩手県美容会館 6名受講 (会場5名、オンライン1名)。

内 容	時間(分)	講師氏名	講師所属、職名等
講義：Google ビジネスプロフィール、公式LINE 公式アカウントの作成等について	14：00～ 16：00	橋場 泉	(有)アイエスサプライ代表



第二回スキルアップ研修会 12月21日(木)、於：岩手県美容会館 9名受講 (会場6名、オンライン3名)。

内 容	時間(分)	講師氏名	講師所属、職名等
講義：インスタグラム動画作成の具体的な手順等について	13：30～ 15：30	伊藤 純二	(株)LOBBY ディレクター



『経営特別相談員研修会』を開催

11月13日(月)、ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイングにおいて、経営特別相談員研修会を開催。インフルエンザの感染拡大が迫る中、40名の経営特別相談員が受講。

今後、各地域において生衛業の皆様への相談対応等、ご活躍をお願いします。

研修科目	時間(分)	講師氏名	講師所属、職名等
指導センター業務と特相員制度、生衛法と生衛組合の役割、デジタル化活用等について	30	小原 仁生	岩手県生活衛生営業指導センター専務理事兼事務局長
生衛業の税務について	60	丹代 一志	昆税理士法人代表社員 所長 税理士
持続化補助金等の活用について	60	高橋 晃	国「中小企業119」登録専門家
最低賃金制度と賃金上げに向けた支援先等について	35	戸小台 沙智	岩手働き方改革推進支援センター 社会保険労務士
公庫融資等について	35	稲垣 賢秀	日本政策金融公庫盛岡支店国民生活事業 融資第二課長



1時限目
(指導センター専務)



2時限目
(丹代税理士)



3時限目
(高橋 晃氏)



4時限目
(働き方改革センター)



5時限目
(公庫稲垣課長)



受講者の皆さん

『秋田県・岩手県合同開催 生衛組合活性化塾2023in横手』を開催

12月11日(月)、横手シャイニーパレスにおいて、これからの地域における生衛業の役割 ～地域ぐるみで高齢者の生活支援を考える～と題し活性化塾を開催、65名が参加(会場36名、オンライン29名)。

参加者アンケートでは、**88%の方から「大変参考になった、参考になった」との評価**をいただきました。

内 容	講師所属、職名、氏名
基調講演 ・全国の注目事例等 ・岩手県生衛業の取組み ・秋田県生衛業の取組み	全国指導センター 研究員 桑原 廣美 岩手県指導センター事務局次長 佐々木浩明 秋田県指導センター専務理事 武田 勝
パネリストの立場からの活動報告等	岩手県理容組合、東磐井地区生衛協議会会長 小野寺宏行 一関市社会福祉協議会千厩支部支部長 尾形 秀治 秋田県クリーニング組合、前横手地区協議会会長 高橋 彰 横手市まるごと福祉課 主幹 佐藤 大 地域行政有識者(元秋田県参事) 小西 和男
パネルディスカッション	【コーディネーター】 秋田県指導センター 武田 勝 専務理事 全国指導センター 桑原廣美 研究員 【パネリスト】 上記のとおり



指導センターの応援団

(公財) 岩手県生活衛生営業指導センターの賛助会員の方々をご紹介します

小松総合印刷 株式会社

株式会社 総合広告社

株式会社 Fair Sports Morioka A.T

一般社団法人 岩手県食品衛生協会

タカラベルモント 株式会社

有限会社 アイエスサプライ

岩手県酒造組合

株式会社 いわちく

有限会社 ジロー印刷企画

工藤健人中小企業診断士事務所

● 指導センターの主な事業(令和5年度) ●

区分	事業名	月 日	場 所	実 績
経営特別 相談員	経営特別相談員養成講習	6月20日(火)	岩手県美容会館(盛岡市)	3名養成
	経営特別相談員研修	11月13日(月)	ホテルメトロポリタン盛岡ニューウィング	40名受講
ク リ ー ン グ	クリーニング師研修	8月27日(日)	釜石地区合同庁舎	8名
		9月24日(日)	久慈地区合同庁舎	5名
		10月22日(日)	一関地区合同庁舎	3名
		11月19日(日)	サンセール盛岡	10名
		12月~1月	2型(通信制)	8名予定
	クリーニング業務従事者講習	8月27日(日)	釜石地区合同庁舎	2名
		9月24日(日)	久慈地区合同庁舎	2名
		10月22日(日)	一関地区合同庁舎	6名
		11月19日(日)	サンセール盛岡	6名
		12月~1月	2型(通信制)	16名予定
後継者育成	体験学習(小中学校)	11月21日(火)	大船渡市立末崎中学校(飲食業組合)	3年生21名
衛生水準の 維持・向上	衛生管理セミナー	9月25日(月)	シーパル大船渡	46名
	セイエイ塾	R6年1月15日(月)	アートホテル盛岡	22名予定
※地域 連携 事業 活性化	モデル事業(※指導センターは企画・総合調整担当)	10月16日(月)	総合福祉センター	14名
	デモ事業(※指導センターは企画・総合調整担当)	10月23日(月)	千厩農村環境改善センター(一関)	15名
		11月6日(月)	久慈市総合福祉センター	23名

後継者育成支援事業「調理体験学習」

11月21日、大船渡市立末崎中学校において、飲食業組合大船渡支部(千葉武継支部長)9名が講師となり、調理体験学習を実施しました。

末崎中学校では、「わかめ養殖漁業発祥の地」とされる地元産業を学ぶ一環として、1年生の種まきから始まり、3年かけて収穫・加工・販売体験等を学習しており、今回の調理体験はその最後のいわば集大成の学習でした。

調理メニューは、生徒自身が収穫・加工したわかめを使ったナムルとチジミの2品で、給食にて全校生徒・全職員が堪能しました。

この後継者育成事業について、今後、実施を希望する組合や連絡協議会は、当指導センター(019-624-6642)まで連絡ください。

